

第X回：タイトル(報告書ごとに内容にふさわしいタイトルをつける)  
 Xth : Title (English title should be followed after Japanese title)

M1 立命 太郎

● 前回 (20xx/xx/xx) のディスカッション内容

ここでは前回のディスカッション内容を簡単にまとめて書く．前回は報告した内容，議論したこと，宿題に出されたことなどを書いて今回のディスカッションがスムーズに進行できるようにする [1].

## 1 タイトルは自由に

章タイトルは`\section`を使用する．必要に応じて`\subsection`や`\subsubsection`を使用することによって 1.1 や 1.1.1 のように章番号を付けることができる [2].

### 1.1 文章

文章は【です・ます】ではなく，【だ・である】にし，口語ではなく文語形式で作成する．また，【。・、】に関しては，そのままでも良いし，【. ・,】でも良い．

## 2 図と表,そして式

簡単に図，表，式等に関して説明する．ここに入れる図，表，式は必ず完成度が高いものにする．その理由はこの資料を作成して終わりにするのではなく，この資料を論文作成などにも利用できるようにするためである．すなわち，一度作成したものは再利用できるように品質の高いものにする．図や表はなるべくページの一番上か一番下に配置するのが好ましい．

### 2.1 図の場合

図を挿入する場合はキャプションを必ず書く．図番号は $\LaTeX$ が自動で付加してくれる．図のキャプションは図の下に書く．

ちなみに，図1はベクタ形式，図2はラスタ形式である．基本的にラスタ形式(jpgやpngなど)よりもベクタ形式(epsなど)の方が，「拡大してもギザギザにならない」等の利点もあるため，読み手からは好まれる．

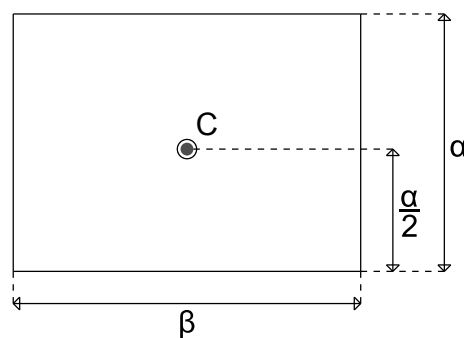


Fig. 1: 図のキャプションは必ず書く



Fig. 2: 図番号は  $\text{\LaTeX}$  が自動で連番にしてくれる

表 1: 表の例

a	b	c
あいう	えお	かきくけこ

## 2.2 表の場合

表も図と同様である．番号を付けた図や表は図 1，図 2，表 1 のように文中から参照する方が望ましい．表のキャプションは表の上に書く．

## 2.3 式の場合

数式を入れるときは必ず式 (1) のように数式番号を右に記載する．数式番号の記載は  $\text{\LaTeX}$  が自動で行ってくれる．

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \\ e & f \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \alpha \\ \beta \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \Phi \\ \Gamma \\ \Psi \end{pmatrix} \quad (1)$$

## 3 今後の計画

最後は必ずこれからの計画を書く．やることの内容といつまで何処までをやるかを明記する [3]．

日付	達成内容
～x/x	$\text{\LaTeX}$ を勉強する
～x/xx	$\text{\LaTeX}$ のテンプレートを作る

## 参考文献

- [1] あああ 参考文献は必ず文中から参照する
- [2] い 複数回参照しても構わない．
- [3] この欄の項目は，基本的には文中からの参照順に並べる